

項目	内容
「尻別川の未来を考えるオビラメの会」への支援	有島ポンド飼育池管理及び餌代として「オビラメの会」へ30万円の補助(3年間補助のうち2年目)
綺羅乃湯への電気自動車急速充電器補助	充電スタンド維持費等から民間団体助成金を差し引いた差額99000円の補助
広報7月号で「環境モデル都市」特集	2年間の取組内容と今後の予定を広く町民にお知らせ
「省エネ建築を考える～持続可能なまちづくりに向けて」勉強会	7/5にクラブヴォーバン代表理事早田宏徳氏、日本エネルギーパス協会代表理事今泉太爾氏を講師に省エネ建築をテーマに勉強会を開催した。省エネの意義はエネルギー代金をただ燃やすだけから、地域の雇用やCO2削減にシフトできること、住宅の省エネ性能をあげるため、日本政府が進めている現在ZEH(ゼロエネルギーハウス)などの話があった。参加者20名。
水生昆虫観察会実施	「FFニセコ川を見る会」に委託。1回目7/9講師齊藤和範氏(旭川大学地域研究所特別研究員)「川を見てみよう」をテーマに午前中水中観察を行い、午後町民センターで採取した昆虫を分類し顕微鏡で観察、スケッチを作成。参加者は児童9人・保護者6人・小学生未満2人。2回目8/3「川で遊ぼう」箱めがね等で水中観察及び川遊びを行い、お昼を食べて解散。参加者は児童13名・保護者9名・小学生未満3名。
サイエンスカフェinニセコ実施	7/18に中央倉庫群旧でんぷん工場にて開催。2月に北大CoStep主催で札幌の紀伊國屋で行ったサイエンスカフェをニセコで行う。「エネルギー自立」をテーマに聞き手北大CoSTEP客員準教授の葛西奈津子さん、話し手に北大電子科学研究所助教の酒井恭輔さん、役場の大野でドイツの取組とニセコ町の挑戦を紹介し、私たちの手でつくる環境・経済・暮らしの未来を考えた。関係者含めた参加者67名。
エジュケーションプログラムの支援	ニセコリゾート観光協会が窓口となり、主にアジアからの夏季の修学旅行生向け環境プログラムを作成し実施する。7/28にエコアンバサダー説明会を開催したが(関係者含めた参加8名)、経済的メリットを出す方法や他の団体との連携など仕切りなおしが必要。今後の体制づくりについて観光協会と協議する。
ニセコアンヌプリ温泉湯心亭への温泉排湯利用支援	北海道補助事業「一村一エネ」採択。8/29～9/5工事。9/9北海道経済産業局視察、省エネ・再エネ補助事業勉強会(17:00～町民センター研修室2)予定。
地熱資源開発に向けた地表調査	日本重化学工業及び三井石油開発による地表調査開始。岩石の採取などの地質調査は8/8～8/27、温泉水の採取などの地化学調査は8/21～8/28。
民間企業による地熱理解促進関連事業支援補助事業申請に町の同意書提出	日本重化学工業が経済産業省(第3次8/24締切)にニセコ町・蘭越町の同意書を添付し申請中。勉強会2回、講演会1回、事例視察1回(岩手県八幡平市)を予定している。
綺羅乃湯への木質バイオマスボイラ導入検討	8/16に北海道事業によりバイオマスアドバイザーと見学会・勉強会開催。別紙資料参照
第2次ニセコ町環境基本計画見直し・環境白書作成	コミュニティ研究所に委託。別紙資料参照
環境モデル都市フォローアップ資料作成	北海道環境財団に委託。別紙資料参照